

公表

事業所における自己評価総括表「児童発達支援」

○事業所名	こどもデイサービスらびい		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 12名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家族からの満足度については高評価を頂いている。	口頭や連絡帳での密なやり取りを心がけている。共通認識が出来るよう専門用語を使用せず、家族目線に合わせた言葉のやり取りを実施している。	今後も継続して行う。 本人の感情表現・感覚・言語の認識など、家族の捉え方を細かく聴きこちらの感じ方を細かく話すことで共通認識を図る。
2	適切な支援の提供 子供の成長発達に応じた活動プログラムを提示できている	四季を感じるプログラムや子どもに合わせた活動プログラムの工夫を常に考え実施している。 発育を促すため発育過程に合わせた個別支援の提供(五感を刺激する活動)	子供の経験を増やし成長への支援を増やしていく。 地域との交流が少ない為、交流の機会を増やす。 (地域の図書館でお話し会参加など、イベントに参加していく)
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<関係機関や保護者との連携> 地域との交流が少ない 地域の保育所など他の子供と接する機会が少ない。 事業所の活動内容の周知できる仕組みや場の提供を充分できていない。	コロナ禍に置いて、感染拡大や蔓延、クラスターへの懸念を考え積極的に実施していなかった。 コロナ感染状態の懸念もあり家族会など実施していない。	家族連絡会については、年1回開催を検討している。 開催について、保護者のニーズ調査を検討(アンケート実施予定) 地域の保育所など他の子供と接する機会を提供できるよう、地域交流の強化をする。 ホームページを活用し更なる地域への発信を強化する。 地域の防災(避難訓練)への参加を検討。
2	<非常時等の対応> 事業所の説明や緊急時の説明など(災害時・感染症対策・虐待防止法・個別支援プログラム)詳しい説明が不足している。	契約時に説明・法の改正時に説明を実施しているが、マニュアル等の説明が不十分である。 個別支援計画書の内容説明は、面談時にしっかり行われているが、内容が多い為、記憶に残りにくいと考えられる。	改めて今年度マニュアルの更新をしているため、家族へのお知らせや説明を強化する。 個別支援計画書の簡略化(分かり易い・見やすい書類へ)
3	<環境・体制整備> 基準は満たしているが、活動内容によっては狭いと感じる。 利用者様が成長していく中狭いと感じます。 精神的不安定な時に落ち着けるよう配慮する為の個別の部屋がない。	精神的不安定な時に落ち着けるよう配慮する為の個別の部屋がない。	個別対応が必要な時は、空間を隔離したり玄関フロアを活用する。 (空間隔離は、衝立をする。) (部屋への入り口を閉める事で個室空間を作る。)